

## SRID 活動報告

### SRID 懇談会報告

小林文彦  
SRID 代表幹事

SRID 懇談会は SRID 非会員でも参加できる公開イベントです。国際開発のベテランのみならず、国際開発に興味のある学生や、すでに国際開発分野で働いていて、さらなるステップアップを目指す若い世代などの幅広い参加者を対象に、国際開発に関する時宜を得たテーマについてその分野のエキスパートにご登壇頂いています。そして懇談会の名の如く、登壇者の講演後に十分な質疑応答の時間を設けることで登壇者も含めた全参加者が共に考えることができる機会を提供しています。私は 2017 年より懇談会担当幹事として SRID 懇談会に携わって来ていますが、ほぼ 4 年間が経過したのを節目に、その間の懇談会を振り返り、合わせて懇談会の将来についても考えてみたいと思います。

#### 1. SRID 懇談会の実績

懇談会のテーマと回数は登壇可能なエキスパートに合わせてフレキシブルに対応していますが、基本的には毎年、国連関連と世界銀行などの国際開発金融機関関連を各 1 回、その他国際開発関連を 2 回、合計 4 回以上の開催を目指してきています。過去 4 年間の実績は以下の通りであり、特定分野に偏らない様々な国際開発のテーマをカバーできていると思います。私は元々総合商社で途上国を含む海外インフラプロジェクトに携わり、51 才で国際金融公社(IFC)に転職した遅咲き国際開発実務者です。その為、私自身の知識経験に偏りがあるので、SRID 懇談会を通じて国際開発の中のあまり馴染みの無い分野についても知識を広げることができています。ジャーナル読者の皆さんもご自身の専門分野以外のテーマに関する SRID 懇談会にも是非ご参加頂きたいと思います。

	開催日	テーマ	登壇者
2017 年度第 1 回	5 月 16 日	国際社会で活躍できる若手を育てる キャリア開発指導法について	泉泰雄氏 オリエンタルコンサルタンツグローバル(株) 理事
第 2 回	6 月 13 日	金融地政学(Financial Geopolitics)への 招待	前田光浩 産業技術大学院大学 教授
第 3 回	8 月 1 日	世界銀行の監査	仲浩史 世界銀行 副総裁兼総監査長
第 4 回	8 月 10 日	SDGs: Redefining “Development” Project	福田パー咲子 New School 大学 教授
第 5 回	9 月 5 日	MDB の今と将来	小寺清 元世界銀行・IMF 合同開発 委員会 事務局長
第 6 回	10 月 10 日	輸出で地域を元気に：茨城県の事例	西川宗太郎 JETRO 茨城貿易情報 センター長

第7回	12月10日	We exist- シリア市民社会からの叫び	小泉尊聖 SRID 会員 シリア和平ネットワーク
第8回	3月13日	国際機関(UNIDO, EBRD)の現場から眺めた東西冷戦終結後の欧州の動きについて	中沢賢治 SRID 会員 元 EBRD シニアマネージャー
2018年度第1回	6月19日	民間企業の SDGs への取組みとチャレンジ	小林いずみ 元 MIGA 長官
第2回	7月24日	民間ビジネスを通じた SDGs 貢献とその評価	畑島宏之 世界銀行グループ 上級評価担当官
第3回	8月8日	世界銀行を通じた日本の知的貢献	鈴木博明 SRID 会員 元世界銀行 主席都市専門官
第4回	10月15日	UNDP の中所得国協力と国連援助調整の改革：カンボジアでの経験から	山崎節子 元 UNDP ベトナム事務所 所長
第5回	12月11日	途上国法整備支援の国際動向と日本のアプローチ	佐藤直史 弁護士
第6回	1月15日	世界の人口問題と SDGs	佐藤摩利子 国連人口基金(UNFPA) 東京事務所 所長
2019年度第1回	6月10日	新興国社会的インパクト投資の可能性-リターンとインパクトの両立	木村卓郎 元国際金融公社(IFC) 製造業投資部門グローバルヘッド
第2回	7月23日	障害のあるケニアの子どもたちの包括的ケア-子どもたちが輝ける社会を目指して	公文和子 「シロアムの園」代表、小児科医
第3回	9月10日	平和構築の現場から-DRC 東部での武装解除と人道・開発支援	北丸薫子 SRID 会員 内閣府国際平和協力本部事務局専門官
第4回	11月13日	世界銀行はなぜ低利で融資できるのか? 知っておきたい世界銀行財務の世界	仲浩史 SRID 会員 東京大学未来ビジョン研究センター 教授
第5回	1月14日	新興国建設プロジェクトの円滑な推進：多国籍・多文化契約者間紛争の予防と解決	大本俊彦 京都大学経営管理大学院特命教授・国際紛争仲裁人
2020年度第1回	8月18日	アフリカの土地法改革が示すもの-背景・結果・国家建設への含意	武内進一 東京外国語大学教授
第2回	9月15日	国連改革の行方：一つの国連(Delivery as one)は可能か?	丹羽敏之 元 UNICEF 事務局次長
第3回	10月20日	コロナ禍の食料不安と国連 WFP の支援：世界の飢餓への挑戦	焼家直絵 国連世界食料計画(WFP) 日本事務所代表

## 2. 対面から Zoom 開催への変更

2019年度までの懇談会は主に市ヶ谷のJICA地球ひろば会議室を使って対面で行われていましたが、2020年度よりはコロナ禍の為にZoomを使用したオンライン開催となっています。SRIDでは、オンライン導入を2019年より始めていました。具体的には、旅行中の幹事による幹事会オンライン参加がありました。そして、2019年10月に開催したSRIDフォーラムではアメリカ、ベナン、インドネシア在住のSRID会員がオンライン参加。さらに同年11月のSRID懇談会ではスカイプを使ってニューヨークとワシントンのSRID会員が傍聴しました。この様な経験を基に、対面式で2020年3月、6月、7月に開催予定であったSRID懇談会がコロナ禍の為に延期された後、2020年8月からZoomで開催することができました。実は、オンラインによるアクセスの利便性もあり、参加者は対面の頃の30人前後からオンライン方式での100人程度と大幅に増加しています。さらに、登壇者についても世界のどこにいても参加可能となり、9月15日開催の懇談会の登壇者はアメリカ在住でした。SRIDでは将来の懇談会の登壇者を常に探していますので、ジャーナル読者やそのお知り合いの方の自薦、他薦は大歓迎です。SRID事務局にコンタクトしてください。

## 3. 質疑応答とネットワーク懇親会

2019年までの対面式懇談会では、後半の質疑応答で様々な切り口の質問が出て、テーマについてより深い理解を得ることができましたが、オンライン開催の懇談会でどの様に質疑応答を行うかは懇談会担当幹事にとってチャレンジでした。現在SRID懇談会で行っているのは、参加者からの事前質問や懇談会中のチャットを通じて出された質問を、司会と副司会が交互に適宜読み上げて登壇者に応答頂くという方式です。幸い参加者から多くの的を得た質問を頂いており、中身の濃い質疑応答ができていると思っています。

オンライン開催以前のSRID懇談会に於けるもう一つの重要な要素は、懇談会後に近隣のレストランで立食形式で開催されていた、登壇者・会員・非会員の参加によるネットワーク懇親会でした。この懇親会を通じて、キャリア開発事業を含めたSRIDの活動に対する非会員参加者の認知度を高め、キャリア開発事業への申込者増やSRID新規会員増に繋げてきていました。しかし、現在のオンライン懇談会では、このネットワーク懇親会という貴重な交流の場を失っており、それに代わる手段がないか模索しています。いずれにせよ、今後も国際開発に関する時宜を得たテーマについて知的刺激のある参加型懇談会を目指していきますので、多くの方にご参加いただける様にお願ひ致します。

対面式で行われたSRID懇談会の様子



開催日：2017年8月1日  
講師：仲浩史 世界銀行  
副総裁兼総監査長(当時)

オンライン SRID 懇談会での質疑応答の様子



開催日：2020年10月20日

左上：国連 WFP 日本事務所代表  
焼家直絵氏

右上：小林文彦代表幹事

下：秋田祐一郎幹事